

	実態と課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章中の「問い」と「答え」を意識しながら読み進めることは出来ているが、大事な言葉や文に着目して、段落ごとに書かれている内容をまとめることは難しい。 漢字学習は意欲的に取り組むが、文章を書くときに習った漢字を使っておらず、漢字の定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き始める前に「始め」「中」「終わり」の大まかな文章構成を捉えることが出来るような表や、構成メモを用意し、事柄の順序を考えながら内容をまとめる練習をする。 学習した漢字や言葉を文章の中で活用できるように、漢字などの家庭学習を繰り返す。国語辞典や漢字辞典をさらに活用し、語彙力を高める。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 新しく始まった授業ということもあり、意欲的に取り組んでいる。板橋区の様子については、すでに知識のある児童とまったく知らない児童との差が大きい。 資料から必要な情報を読み取ることができる児童と苦手な児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習資料、パンフレット、ホームページなどのお知らせをクラスルームで共有し、興味関心を高める。 学習資料内の文章と写真を活用し、普段から資料を読み取る経験を増やしておくことで、文と資料を関係付けて読む力を育む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本的な計算（かけ算や筆算）などが十分に定着していない。 コンパスの作図は、興味をもって取り組む児童が多かったが、コンパスの使い方に慣れていないため、上手く作図できていない児童が多くみられた。 あまりのある除法の式表示と計算の仕方の定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の初めの5分を用いて、基礎基本的なプリントを、繰り返し練習する。 授業や朝学習等で、コンパスを使う機会を増やすことで、コンパスの扱いに慣れるようにする。 授業の初めの5分を用いて、前時の復習プリントを、繰り返し練習する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験共に意欲的に取り組む児童が多い。観察に関しては繰り返し確認しながらすすめ、やり方に慣れてきている。 実験の過程がまだ定着していない。特に予想と実験計画、考察が定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き継続的に指導をしていく。 実験の度に、丁寧に確認しながらすすめていく。「疑問→予想→実験計画→結果→考察」の過程を必ず提示する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容を理解して歌おうとする意欲がある。正しい音程や発声の技能が追いついていない児童がいる。 様々な楽器に十分に触れる活動がやや不足している。 リコーダーへの興味関心が高く、良い音色で吹ける児童と、穴のふさぎ方や息の使い方が未熟で、自信の持てない児童との差が開きつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の冒頭に、「今月の歌」を歌い、歌詞の理解や発声・呼吸法、情景にふさわしい表現の仕方を指導する。 器楽の学習では、2学期以降、リコーダー以外にも、鍵盤ハーモニカ・木琴・鉄琴・キーボード・打楽器などに触れる活動を増やす。 協働的な学習や個別最適な学習をおこなえるよう、学習の形態を工夫する。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 前学年までの経験を生かして、造形活動に積極的に取り組む児童が増えた。特に工作に興味関心がある児童が多い。 自分のイメージはもてるが、既存のデザインにとらわれたり、うまくいかない諦めてしまったり、用具の扱いが十分でない児童もいる 友達や自分の作品のよさを積極的に伝えられる児童が多いが、うまく文章や言葉で表現できない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前学年までの経験が視覚的に分かる掲示物や、ポートフォリオとなる作品ファイルを活用し、今までの学習内容が次の制作活動に活用できるように援助する。 児童の実態に合わせてながら用具の取扱いについて個別に指導する。また Google クラスルームや電子黒板を活用し作品例を紹介するなど、視覚的なアプローチを多くとる。 制作途中に鑑賞を取り入れ、よさを具体的に伝えたり、自分の作品に生かしたりしながら、伝え方を学ぶ機会を多くとる。また鑑賞の視点やめあてを明確にする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> どの運動にも意欲的に取り組んでいる。 めあての設定と、めあてに対しての振り返りの仕方を理解していない児童がいる。 「楽しく運動する」ために、規則を工夫したり、考えたことを伝えたりすることに課題がある。児童による差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの学習カードを使用し、いつでも、どこでも友達のことを見たり、確認したりすることができるようにする。 規則の工夫は慣れるまでこちらで提示した物の中から選べるようにする。また、タブレットを活用することで自分の考えを交流しやすくする。